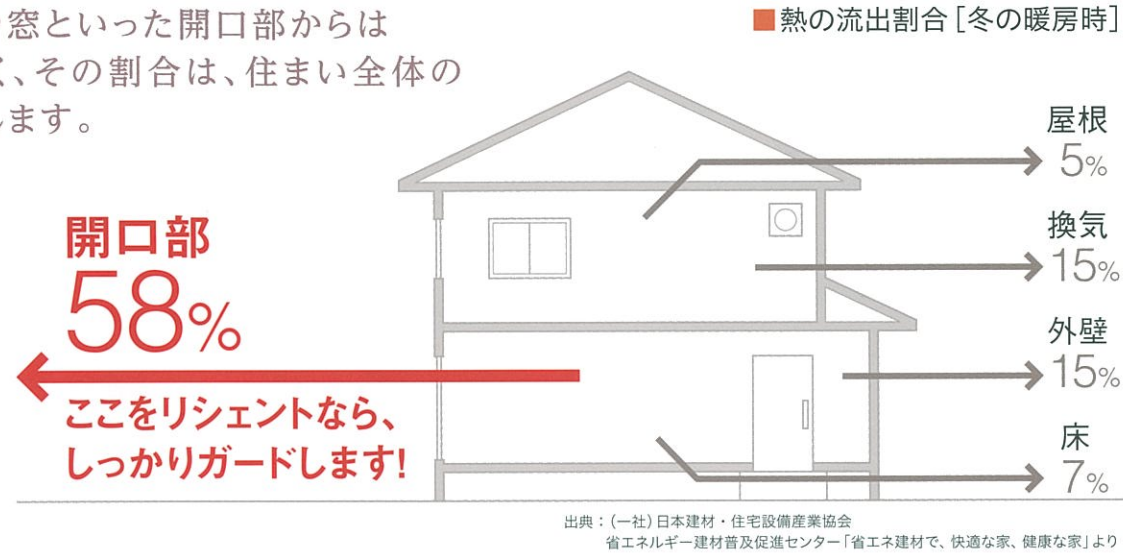


# 冬暖かく、夏涼しい、住まい。 断熱性能に優れた勝手口ドアは、欠かせないアイテムです。

せっかくの冷暖房も、寒風や熱気が入ってきてしまっは台なし。断熱性能を高めるドアのリフォーム。  
それは、普段通りに暮らすだけで、無駄なエネルギーを使わない、自然と共生するエコの方法です。

玄関、勝手口や窓といった開口部からは熱が逃げやすく、その割合は、住まい全体の約半分にも達します。



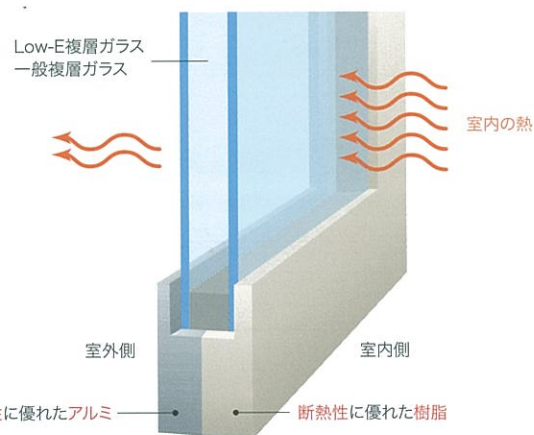
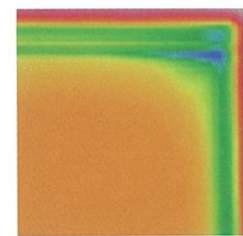
ハイブリッド仕様で、高い断熱性能を誇ります。

断熱仕様は、アルミと樹脂のハイブリッド構造により断熱性能とデザイン性を両立させています。

2016年9月発売

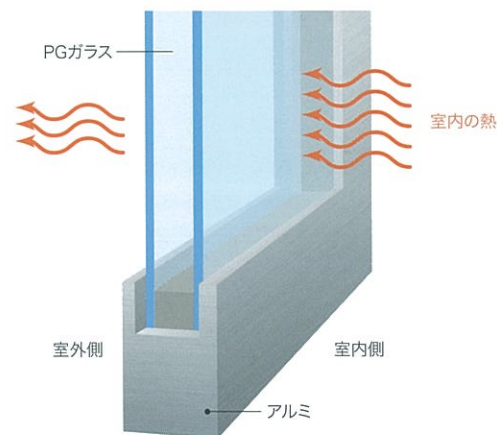
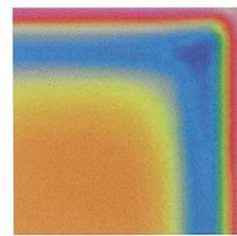
断熱仕様

樹脂とアルミのハイブリッド構造  
高い断熱性とデザイン性を両立!



アルミPG/SG仕様

アルミ構造



熱を逃しにくいガラス素材、複層ガラス。

中空層の働きで、高い断熱効果を発揮。ガラス面の結露も抑制します。

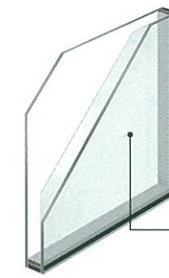
一般複層ガラス (PG)

2枚のガラスを組み合わせる中空層を設けたスタンダードタイプの複層ガラス。通常ガラスの約2倍の断熱効果を発揮します。



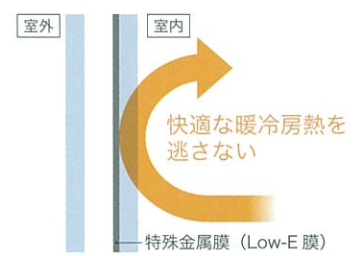
Low-E複層ガラス

片側のガラスにコーティングされた特殊金属膜 (Low-E膜) により優れた断熱効果を発揮します。



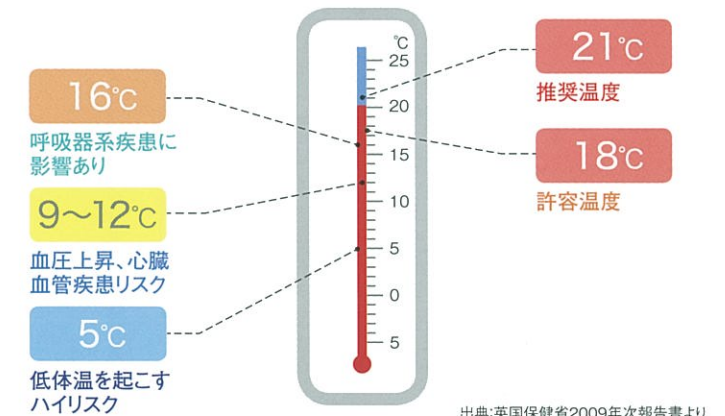
ガラスの断熱効果を向上させる、Low-E複層ガラス

Low-Eとは、Low Emissivity (低放射) の略語。ガラス表面に、特殊金属をコーティングし、放射による熱の伝わりを抑えます。



部屋の寒さが健康を損なう要因になります。

部屋の温度が18℃未満になると、呼吸器系や循環器系などの疾患リスクが高まるデータがあります。健康を保つ部屋のおすすめ温度は21℃、少なくとも18℃以上にすると、疾患のリスクが減少します。



家を断熱化すると症状が改善します。

呼吸器系や皮膚系の疾患を持った方が、住まいの断熱性能を向上した結果、症状が改善されたという調査結果があります。

$$\text{改善率} = \frac{\text{新しい住まいで症状が出なくなった人}}{\text{前の住まいで症状が出ていた人}}$$

